

ねっとわーく水沢

<第93号> 2023年(令和5年) 5月25日(木曜日)
編集・発行 水沢地区振興会内、水沢地区広報委員会
事務局 水沢公民館内
電話 758-3101 FAX 758-3102
E-mail : n.w.mizusawa@gmail.com

地区内世帯数・人口(4月末日現在)

1,820世帯 4,780人

(男2,362人 女2,418人)

前年同月比

世帯 +1世帯 人口 -71人



表紙の写真は、水沢小学校の桜です。入学式、運動会、地区民で涼んだ思い出がある桜です。詳細は水沢小学校だよりをお読みください。

◆ 総代だより	5	7
大黒沢・市ノ沢・馬場・中在家・ 当間・細尾・安養寺・伊達		
◆ 地域取材	7	9
水沢公民館		
・地域おこし協力隊		
・水沢地区体育協会の活動		
◆ 編集後記	10	
・みずさわの春の景色		



校舎改修に伴い、長い間私たちを楽しませててくれた桜の樹を伐採いたしました。お別れのライトアップではたくさんの方が訪れ、桜を仰ぐお姿がありました。この桜はソメイヨシノであり、すでに老木と化していたるところに傷みや補修の跡があり、昨年樹木医の先生から診ていただきたときは更新の時期を迎えたのだと思いました。樹齢は60年以上とのことで、資料をあたって植えた頃を調べました。ですがはつきりとしたことは分かりません。学校には付き物の樹木ですので節目には植樹が重ねられてきたものと思われます。60年より以前の校史に目を通すと：（年表を参照ください）当時の様子を知る方にお会いできたらお聞きしたいです。

校歌の二番に「桜が丘に」とありますが、このあたり一帯は水沢地域の心の拠り所となってきたように強く感じます。このたびの桜は改修される校舎の室名札や身長計プレート、壁面アートやモニュメントとして再生し、また新たに苗を植えてつなげたいと思います。

水沢小学校ではこの春、24名の新入生を迎える、全校児童157名となりました。教育目標である「明るく」「やさしく」「たくましく」の実現に向け、皆様からの愛を頂戴しながら子どもたちにふるさとを大切にする心、しつかりとした社会性、力強く生きようとする姿勢を育んでいきたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。

「このたびの桜について」

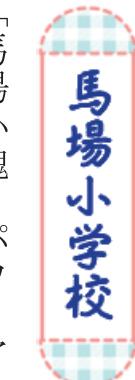


学校・保育園だより

水沢小学校 校長 田村 晃夫

水沢小学校 桜の年表

明治35年	1902	最初の校舎 木造二階 (現在の放課後児童クラブあたり)
明治43年	1910	増築木造二階 屋内運動場、教室 (体育館から多目的室あたり)
大正13年	1924	増築木造二階 北校舎教室棟 (給食センター駐車場あたり)
昭和 5年	1930	増築木造二階 教室棟 (放送室あたり)
昭和24年	1949	教親会(P T A)の協力で前庭緑化作業
昭和30年	1955	増築木造体育館渡り廊下落成、 教親会による校地整理
昭和32年	1959	植樹祭11月2日
昭和34年	1959	三年生記念植樹4月15日、 皇太子ご成婚記念植樹7月27日
昭和38年	1963	火災北校舎焼失、 翌年1月20日同地に鉄筋二階校舎竣工
昭和57年	1982	南校舎竣工(現在の教務室から教室棟途中まで)の写真を見ると、すでに桜の幹周りは両腕で抱えられる程、高さは10メートル程の大きさになっていたことが分かります。



「馬場小魂」パワーアップ

馬場小学校 校長 渡邊正文

令和五年度になり、全校三十九名、常勤の職員十名と新たな気持でスタートしました。今から四十年以上前に当時の馬場小学校が全校に向けて発した合言葉「やればできる」。今日までこの言葉が馬場小に脈々と受け継がれています。この言葉を根底に据え、今年度は「やってみよう やればできる 馬場小魂パワーアップ」

と子どもたちに呼びかけました。これから
の未来は予測困難な時代になると言われ
ています。その中でも子どもたちが、心豊
かに自分の未来を切り拓いていくってほし
いと願っています。

コロナ禍の収束が見えてきた今日にあ
り、「地域とともにあり、地域の中の学
校」として、子どもたちとともにこれから
たくさん地域に出かけ、地域の水沢馬場地
区のよさを発見していきます。今年度も馬
場小学校の教育活動にご支援とご協力を
お願いします。



「地域と共に生徒を育む水中に」

水沢中学校 校長 上重 哲史



昨年度新任で赴任し2年目となります。どうぞ、よろしくお願
いいたします。

さて、令和4年度はコロナ禍での試行錯誤の教育活動でした。

授業、諸行事において生徒に我慢を強いる場面が多くあり、歯が
ゆく心苦しい状況でした。そんな中でも生徒・教職員の笑顔と保
護者・地域の皆様のお力添えに支えられ、全校生徒の確かな成長
を実感することができました。心より感謝申し上げます。

さて、ポストコロナの令和5年度。地域の宝である子どもたち
さあ、

**やってみよう
やればできる
ば ば しょうだましい
馬場小魂
パワーアップ**

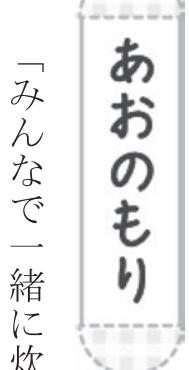
を、明るく元気で伸び伸びとした姿に、学校・保護者・地域の協
働で育てていきたいと考えています。そのためには、校内だけでなく
地域フィールドに学びの場を広げていきます。例えば、職業講
話、農林業体験活動、地域防災活動などで、その道のプロによる
深い学びを直接生徒に御指導ください。また、学校運営協議会の
協力のもと、地域連携企画（ミニ講座開催や校内展示物の提供、
授業や行事のボランティア活動など）にもチャレンジしていく予
定です。御理解と御協力を何卒よろしくお願ひいたします。



3年職場体験 メルシー土市



2年 南雲 ジャガイモ苗植



「みんなで一緒に焼き立てパン」

あおのもり園長 宮沢 希央



令和5年春、園児101名、職員38名でスタート。地域の皆様には
日頃の温かいお見守りに感謝申し上げます。

さて、あおのもりの給食は今年度より全クラスで主食も提供す

四月六日に新入園児二名を迎えて、令和五年度水沢南部保育園の入園式を行いました。来賓として、各集落惣代様、運営委員会の皆様から参列いただき、温かな雰囲気の中で入園式が行われました。今年度は、新入園児がいなく、令和四年度途中入園の二名の入園式となりました。そのため、二名はすっかり保育園に馴染ん

ることにしました。保育園は制度上、従来から3歳児以上になると、おかげとお汁（副食）は園で調理、ごはん（主食）はお家から持つてくるスタイルでした。でもやつぱり、みんなでおんなじ炊き立てごはんを食べてもらいたいと思い、保護者の方のご協力を得てこの春から主食提供を行うことになりました。献立表にはごはんだけじゃなく「たけのごごはん」や「マーボー丼」、洋食系の日はパンなどメニューのバリエーションも増えたんですよ。あおのもりのインスタで毎日紹介していますのでぜひ見てくださいね。

生産者、お店、お家の料理もハイレベルな“食”の水沢。あおのもりキッチン（給食室）もがんばっています！



四月十六日に春の環境整備作業を行いました。保護者、地域役員、職員が大勢参加し、朝の七時から作業を行いました。私は雨模様だったため、少し早めの六時三十分に保育園に行きました。そしたら、もう作業をしている保護者の方がいました。驚いて「早いですね。どうしたのですか」と尋ねると「仕事で少し早く抜けなくてはならないので、その分、早く来ました」と話されました。

私は感激しました。多くの方は、決められた時間に来て、途中で抜けても仕方ないと考えるのが「当たり前」だらうと思います。この方の責任感と保育園に対する熱い思いを感じ、「驚き」が「感謝」に変わりました。このような保護者が我が保育園に存在することを自慢に思います。

全保護者の

水沢南部保育園にかける思いと期待を裏切らないように、職員一同、精一杯保育活動をして参ります。今年度もよろしくお願いいたします。



水沢南部保育園入園式





大黒沢

「新年度にあたつて」

大黒沢集落総代 庭野 保



今年度の大黒沢集落総代をさせていただく庭野です。

私は、大黒沢に来て20年ちょっとになりますが、まだまだわからない事が多いので、集落の方々、役員の方々の協力を得ながらやつていきたいと思います。

コロナも5月には5類にさがります。集落の行事もここ3年間、中止が続きました。今年は、行事の方も少しずつコロナ前に近づけていければいいのかなと思っています。一年間よろしくお願ひします。

市ノ沢

「新年度にあたつて」

市ノ沢区長 飯塚茂利



この度、令和5年度の市ノ沢区長になりました。

私は大役であります。が地区の方々に色々なアドバイスを頂きながら、精一杯務めさせて頂きます。一年間よろしくお願ひいたします。

当集落は、小さい集落ではございますが昨年度も大地の芸術祭に【桟田 ちひろ】さんから集落の空き家に作品を作つて頂き、

沢山の方々に来場頂きました。

又、安心村つくり事業などの活動を通じて、生活し易い集落になりますよう活動したいと思います。

コロナウイルスの影響で行事が行えない日々が続きましたが、ようやく明るい兆しが出てきたように思われます。秋祭りが行われるようであれば、当間川での【魚のつかみ取り】も復活出来ると思います。皆様方から秋の一日を楽しんで頂きたいと思います。

馬場

「コロナ前に戻せるか」

馬場惣代 富井茂



四月一日、三年ぶりに定例総会を行い、令和五年度がスタートしました。当集落は、世帯数はさほど減少していませんが、確実に少子高齢化の波が押し寄せてきています。その上、この三年間はコロナウイルス感染予防のため、様々な伝統行事や活動が中止や縮小を余儀なくされました。コロナによる制限が緩和され、いざ元に戻そうとしても、この三年の間に世代交代や会員減少などがあり、コロナ前と同じことはできないかも知れません。定例総会では、「集落の皆さんのご理解とご協力で、百パーセント復活は無理でも、やれる範囲で馬場集落を盛り上げていきましょう」とお願いしました。コロナによる逆境を逆手に取り、見直しやスリム化が図れたとポジティブに考え、集落民が知恵を出し合い、力を合わせて、これから集落行政を行い、元気のある集落にしていきたいと思います。一年間、よろしくお願ひいたしま

中在家

「新しく総代になりました」

中在家 Tadao, H

中には！私が住んでいる地域は中在家です。中在家は過疎地域ですが、自然が豊かで美しい景色が広がっています。また、山菜も豊富で美味しいものがたくさんあります。花壇の花植えや堰普請など地域住民は団結して助け合いながら生活を営んでおり、地域の人々が築き上げてきた文化や伝統も豊富です。そのひとつに、中在家には「姥子様（うばごさま）ですが、私はずうっとおばごさまと呼んでいました」という神社があります。赤ちゃんが成長するようにと使用済の「よだれかけ」を奉納する習慣があります。

このような儀式は、日本の伝統的な文化であり、赤ちゃんの健康や幸せを祈る意味が込められています。もちろん62年前に奉納した私の「よだれかけ」も残っています。



いつつあり、行動制限が緩和され安堵しております。

当間地域では昭和四十年ごろより過疎化が始まり、現在は世帯数が十二戸まで減少しました。集落事業などを行うにも大変な状況ですので、皆様と知恵を出し合い行事のスリム化を計り持続可能な住みやすい集落作りを行いたいと考えております。近年では平成二十年ごろから始まつた当間地域のほ場整備事業が平成二十八年に終了し、山間部での作業効率及び農機具移動の安全性が向上しました。また、平成三十年秋に地元の悲願であった県道当間トンネルが開通され交通の利便性も良くなりました。事業の成功が地域の活性に繋がりますことを期待するとともに、関係者様に大変なご尽力をいただきましたことへ感謝申し上げます。

最後になりますが皆様のお力添えをいただきますようよろしくお願いいたします。

当間

「新任挨拶」

当間惣代 佐藤哲

長く厳しい冬も終わり、早いもので新緑の季節となりました。三年にも及ぶ新型コロナウイルス感染症がようやく終息に向か

細尾

「新年度を迎える」

細尾惣代 植木康行

令和5年度の細尾集落惣代を仰せつかりました。水沢地区の皆様、宜しくお願ひ致します。



細尾集落は、現在3軒で徐々にではありますが、数軒の減少が見られました。集落では減少を防ぐために、4年前から結婚して細尾集落に住まれる方に歓迎の意を込めて花束とお祝い金を贈らせて頂いております。今まで2組の方が結婚されお祝いさせて頂きました。

また、人口流出を防ぐには住みやすい環境が必要であり、現在土市から細尾の間の下平に歩道を設置していただく活動をしております。長年の道路委員会の方などの活動が実り、昨年は測量まで終わりました。細尾集落長年の願いであつた、下平に歩道設置が現実になろうとしております。これで通勤、通学時の安心、安全がより増すことになります。

課題は多くありますが、役員の方々と協力しより良い細尾集落を作つていただきたいと思います。

安養寺集落

「新年度にあたつて」

安養寺総代 古澤一吉



地域取材



太田 喜重



今年度、安養寺の総代になりました古澤です。部落の役員は、何年かやらせてもらつてきましたが、総代は初めてなので、前年度の総代さんに聞いたり、他の役員の人たちに協力してもらひながら、今年一年頑張っていきたいと思います。

安養寺集落も高齢化の為、役員や行事などやれる人が減つているので、工夫しながら進めていこうと思っています。

コロナの規制が緩和されつつあるので、7月に行われる十七夜祭やホタルの鑑賞会など計画していますので、開催する時は、集落以外の方々も、気兼ねなく参加していただきます様、お願ひいたします。

伊達

「新年度にあたつて」

伊達自治会総代 上村国善



今年一月に上沼道十日町道路について設計説明会が開催され、幅杭設置や測量、調査、交渉、買収などがこれから行われます。それに伴い、当部落でも今年度から十日町道路委員会を作つて活動を開始致しました。また、三月には市道高山水沢線整備事業、県営圃場整備事業の説明会が行われ、伊達、小黒沢、新宮地区で圃場整備推進協議会が発足されるなど大事業が動き始め大変な年度となりました。

コロナも一段落してきましたので、部落行事も今年は全て行う予定であります。皆々様の御協力の程をよろしくお願い致します。

4月1日付の人事異動で着任した太田と申します。前任の齊木副館長同様よろしくお願ひいたします。出身は地元の馬場になります。気軽にお声がけいただければ幸いです。

社会教育については、博物館と、生涯学習課に合わせて10数年と比較的長くかかわらせていただきました。直近は、選挙管理委員会事務局と監査委員事務局を経て今回の異動となりました。

地元に密着した職場に勤務できることから、その利点を生かし地域の歴史に目を向けること、積極的に公民館運営及び地域の振興にかかわって行きたいと考えています。

水沢地域の深刻な問題なかで、人口減少、少子化は特筆すべきと考えます。今から40数年前の馬場小学校の全校生徒は100人を超えていました。私の同級生で21人でしたし、1学年1学級はキープしておりました。水沢中学校はどうかというと同学年は3クラスで100人、全校生徒で300人を超えていました。

現状は、ほぼ当時の3分の1ということになるのでしょうか。

十日町市の人口も6割程度48、800人ほどになつてているようです。この間、行政としては、リゾート推進事業により当間高原のある珠川原を開発、大地の芸術祭の定期開催等の観光事業やインフラの整備等により交流人口を増やすことで地域の魅力の発信やIターンやUターン、Jターンの促進を図るなど、地元と連携した様々な事業を行っています。

人口減少は確かに進んでいますが、逆に言えばこれだけのことをやつたから、このくらいの人口減少で済んだのかもしれません。

高校生の時に調度、六十周年記念事業があり、歴代の校長先生の一人である深田虎雄先生がご講演されました。講演などを聞いて記憶に残ることはあまりなかつたのですが、その時、先生は社会に出たらいろいろなことがたくさんある、理不尽で我慢ならんことも当然ある。そんな時は「やせ我慢しろ」その我慢が皆さんを強くし、道を切り開いてくれるとおっしゃつてくれました。

中年太りした私が言えることではないのかもしれません、きっと

と今が水沢地区の我慢のしどきなのかもしれません。現状を打破すべく二の手、三の手を考えていかなければいけません。

「土市町内会組織検討委員会」をスタートさせたとありました。今までの在り方、やり方を検討し今に見合つた組織運営を模索していくということでした。水沢地区全体がそのような状態なのだと思います。人口の減少はある一定程度までは止めようがないものと思いますが、ここに住む人たちが満足できる生活ができるよいのだと思います。

公民館も水沢地区振興会様、商工会様等の各種団体様や地区民の皆様方のご指導のもと、より利活用し易く満足できる施設になるよう改善を図つていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

『公民館 臨時職員』

齊木 悅子



昨年11月からお世話になつております、齊木悦子です。

利用者の皆さんにいろいろと教えていただきながら、日々奮闘しています。不慣れでご不便をおかけすることもあるかと思いますが、気楽に立ち寄れるみなさんの憩いの場となるように頑張りますのでよろしくお願ひします。

『地域おこし協力隊』

瀬下
雪絵



4月から地域おこし協力隊に着任しました瀬下雪絵です。担当地域は、水沢市ノ沢、中在家、大石、当間、南雲。神奈川県相模原市から来ましたが、両親の出身は魚沼市で仕事は古い建物が大好きなりノベーション専門の建築士です。皆さんから色々な事を学び、一緒にワクワクして過ごしています。どうぞよろしくお願ひ致します。

『水沢地区体育協会の活動』

日頃より、水沢地区体育協会の活動に対しても理解と協力をいただき、心より感謝申し上げます。

ご承知のとおり、猛威を振るつた新型コロナウイルス感染症も、ようやく明るい兆しが見え始め、少しずつではありますが世の中が平常に戻りつつあります。そんな状況の中で、昨年度はいくつかの大会やイベントは、中止をせざるを得なかつたものもありましたが、初の試みであつた「ウォーキング」については、大勢の方から参加をいただき、大盛況に終わりました。終了後には、アンケートにもお答えいただき、前向きな意見を多く頂戴しました。今年度は、その意見を踏まえて、さらに楽しいイベントとして多くの方から参加をいただけるよう、バージョンアップを図り、意欲的に取り組んでまいりますので、大勢の参加をお待ちしております。

ります。

体を動かすことは、体力の向上はもちろん、ストレス解消など的心理的効果も期待できますので、みんなでいい汗をかいて健康な毎日を過ごしましょう。



令和5年度水沢地区体育協会事業計画（案）

1. 主催事業

令和5年度総会	令和5年5月14日（日）
第21回スプリングカップバレーボール大会	5月21日（日）
第39回地区民卓球大会	6月25日（日）
第32回春季地区民親善ソフトボール大会	7月30日（日）
第22回当間山チャレンジ登山	8月20日（日）
庭野スポーツ杯兼水沢体協杯学童野球大会	9月16・17日（土・日）
第2回水沢地区ウォークラリー	10月15日（日）
第32回秋季地区民親善ソフトボール大会	未定
第52回地区民バレーボール大会	10月1日（日）
第35回地区民駅伝・マラソン大会	11月3日（金）
地区民スキーレク	令和6年3月2日（土）
※上記のほか、新規事業を計画・実施予定。	

2. 参加・協賛事業

市内地区体協親善ソフトボール大会参加	7月中
第13回市民ラジオ体操（8月第1水曜日）	8月2日（水）
第45回地区民文化祭	10月22日（日）
市内地区体協親善バドミントン大会	12月3日（日）

※各事業の開催日は予定です。

『つつじ達が綺麗に咲いてくれそうです』

「つつじ原を蘇らせる会」

例年通り 5 月中頃から 6 月上旬が見頃でしょう。

コロナ禍で休止しておりましたイベントを 4 年ぶりに 5 月 28 日の日曜日午前 11 時頃開催予定です。芸達者の方々による演芸会をお楽しみくださいませ。

どうぞ、大勢の方々から来園いただき、つつじ達を愛でて下さいますようご案内申し上げます。

当会は設立から 25 周年を迎えて、昨秋、記念祝賀会を挙行致しました。当時の作業している写真を見て一同、【若かつたなあ】の声。25 年とひと口に言いますが、とても長い年月を会員達は黙々と下刈、消毒、整地等々本当に良くやつて来たものと自負しております。

しかしながら、全員が 25 年の年齢を重ねて後期高齢者となり、正直、作業するにも身体が付いてこないこの頃です。

つつじに興味のある方、作業をしてみようかと思って下さる方、どうぞ私達の仲間に入つていただき、「一緒につつじ原を盛り上げていただければと存じます。



伊達 つつじ原

『みずさわの 春の景色』



あてま高原リゾートベルナティオ 5月末まで



馬場・水沢桜づつみ

編集後記

マスクバイバイ

私達は、古くから忖度がスキみたいですね！そこで、国語辞典で調べたら（他人の気持ちをおしはかる）とあります。私も大なり小なりやっているようですが、何事もやりすぎは心身共によくないのでは？わたしのそんたくは、（損多苦）かな。皆さんのそんたくは、どんなものですか？マスクがはずれてようやく、お互いの顔が見られるようになりました。よかったです。

編集委員 I・S